

承認/1991年3月8日

例会日/火曜日・PM6:30

例会場/名古屋マリオットアソシアホテル

事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号

名古屋マリオットアソシアホテル2202号

TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

会長/小野 雅之

幹事/木下 福郎

会報・雑誌・広報委員長/
朝比美和子



2009-2010

WEEKLY REPORT

2009-2010年 RI会長 ジョン・ケニー

URL <http://www.meinan-rotary.com>

E-mail info@meinan-rotary.com

第896回

2010年2月23日(火) 晴 第29回

～世界理解月間 世界理解と平和週間(2/23～3/1)～

斉唱 それでこそロータリー
出席 会員68名(出席率算入人数63名)
出席52名 出席率82.54%
前々回補填率100%(2月9日分)

会長あいさつ

会長 小野 雅之さん

皆さん、こんばんは。昨日に続き、今日はまた一段と暖かい日でした。

今、バンクーバーではオリンピックの真っ最中で、日本の選手は相当がんばっているのですが、やはり世界のレベルが非常に高いので、まだメダルは銀が1つと銅が2つです。明日はいよいよ女子のフィギュアスケートが始まります。皆さんが金を期待する競技です。韓国のキム・ヨナ選手が非常に好調ですが、当日には色々なプレッシャーでどうなるか分かりません。日本人選手たちも、どうか平常心で頑張ってもらいたいと期待しております。

ロータリーの方は、今年もだいぶ過ぎましたが、まだ会員増強が一向に目的を達していません。残念ながら逆に2人亡くなりまして、非常に寂しい限りであります。もう一度皆さんに会員増強をお願いして、簡単ですがあいさつとさせていただきます。



幹事報告

幹事 木下 福郎さん

1. 次回、3月2日午後5時より3月度理事及び委員長会議がありますので、関係者の方はご出席をお願い致します。
2. 本日の出席袋に2RC合同例会のご案内が入っていますが、曜日が間違っています。正しくは3月30日火曜日ですので、お間違いのないようお願い致します。

第898回例会(3月9日)のご案内

外部卓話 名古屋熱田ローターアクトクラブ
会長 辻 雄基さん

ニコボックス

- ◆ 本日は、クラブフォーラムです。創立20周年記念実行委員会からのお話しです。

川辺 清次さん 杉山 隆秀さん 鈴木 清詞さん
三島多恵子さん 吉木 邦男さん 伊藤 博昭さん
朝比美和子さん 中西 芳子さん 犬飼りさ枝さん
武藤 正行さん 坂田 信子さん 本多 利郎さん
生野 房江さん 有川 英敏さん 柴田 照子さん
三浦 隆さん 安藤 修さん 江上 隆夫さん
三浦 和人さん 中村 勝さん 東山 直史さん
平沼 里子さん 坂本 晃さん 佐々木元彦さん
山本 誠一さん 加藤 英敏さん 小野 雅之さん
入谷 直行さん 木下 福郎さん 宮崎 良一さん
伊藤 圭一さん 林 隆二さん 白銀 義昭さん
堀田 光江さん 牧野 好弘さん 細井 俊男さん
山崎 淳さん 黒田 康正さん 安藤 鎧一さん
児島 徳和さん 川村 繁生さん 野々村憲吾さん
久米 伸治さん 大橋 さなえさん 新原 尚さん

- ◆ 4週間振りのホームクラブです。 榊原 和美さん
- ◆ 先日は亡父の葬儀に際して多大なるご厚情を賜りありがとうございました。 出田真太郎さん

本日合計 62,000円 累計 1,459,000円

出田真太郎さんごあいさつ

先日は、亡き父の葬儀に際し、多数ご参列いただきまして本当にありがとうございました。賑やかに送っていただきまして亡き父も大変喜んでいと思います。

委員会報告

- ロータリー財団委員会 委員長 榊原和美さん
ロータリー財団寄付表彰
・ベネファクター 小野 雅之さん
・マルチプルポールハリスフェロー 榊原 和美さん



■創立20周年記念実行委員会 太田 敦士さん
出席袋に組織表、日程、会場案内が入っていますのでご覧になりながらお聞きください。

日時は2011年2月22日、丁度今日から1年後に開催となります。会場は名古屋マリオットアソシアホテル16階タワーズボールルームです。委員会の構成は、実行委員長が伊藤圭一さん。事務局長が川辺清次さん。記念事業部会部会長が小野雅之さん、副部会長が木下福郎さん、生野房江さん。式典祝賀会部会会長が鈴木清詞さん、副部会長が朝比美和子さん、入谷直行さん。記念誌部会部会長が三島多恵子さん、副部会長が浅井浩さん、細井俊男さんです。

■実行委員長 伊藤 圭一さん
先週の19周年記念例会では、喜寿のお祝いをしていただきまして、嬉しかったです。この歳まで元気で皆さんとご一緒できるのを幸せに思っています。

どうして年齢の話をしたかと言いますと、10周年記念例会の時の実行委員長が初代会長の松岡さんで、当時71歳でしたが、来年の僕は77歳でございます。70過ぎると6つの違いは大きく、松岡さんのように実行委員長としてどんどん前へ行くことができず、皆さんの力を借りてなんとか良い20周年記念例会、記念事業ができることを期待しております。皆さん全員がメンバーで、全員が委員でございますので他人様の様に思わないでください。自分の意見、希望、要望をどんどん出していただいて、記憶に残るような記念すべき20周年にしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

20周年というと、東南RCは20周年記念事業の一つとして我々名南RCを作りました。そのことを思いますと、当時の東南RCと我々のこの20周年ではだいぶエネルギーが違うと思うのですが、これは時代も違っていて、あの頃は高度成長の良い時代でしたから、ロータリーを作っても人がどんどん集まる時代でございました。ですから、沢山事業をすることが良いということではございませんが、意味のある良い20周年記念事業、20周年記念例会を行いたいと思っておりますので、皆さんのご協力をよろしくお願ひします。

■事務局長 川辺 清次さん
私も10周年の時には事務局委員でした。その当時は大体トータル1500万円くらい使ったと思います。記念誌、記念式典、会員は配偶者同伴ということがメインでした。記念事業としては、青少年育成をテーマにして、愛知県警と打ち合わせし、県警の下部組織として少年・少女を指導している、県下に何百人とおられる方々に一同に会してもらって講演会をやるということになりました。ただ、講演を東野 英心さんという、中学生日記などで青少年問題に長けた方を予定しておりましたが、1週間程前に突然亡くなられてあたふたした記憶がございます。

個人的な見解を申しますと、去年も他クラブの記念事業に招かれて行ったわけですが、名古屋北RCと名古屋東RCの50周年は結構派手にやっておられましたが、その他の20周年、40周年は非常に質素な記念事業であったというのが印象でございまして、景気等その時代に合ったことも必要になってくるかと思っております。その点は実行委員会や各部会の中で詰めていただいて、まずはどの程度の事業を、予算を幾らく

らい使ってやるかというのを決めていくと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

■記念事業部会 部会長 小野 雅之さん
私も10周年の時は記念事業部会の委員でした。その時は部会長、副部会長がほとんどの事をやられて、私は何もせずにただ記念事業に参加しただけで、余り協力をした記憶がありません。ただ、皆さんにお任せして申し訳なかったと今は感じております。

記念事業部会は副部会長に木下福郎さん、生野房江さんです。記念事業としては、とりあえず中央有鄰学院、那爛陀学苑、名古屋養育院にパソコンを贈る話はあるのですが、その他に何かインパクトのあるイベントをしたいと考えており、夏に蛍を飛ばす等の話も少しずつ出ております。ただ具体的な話はまだ進んでおりませんので、ぜひ皆さんにアイデアや意見をどんどん出していただいて、ロータリーとして世間にもう少しアピールするものを何かしたいと感じている次第です。これも追々20周年準備委員会を通して具体的に盛り上げていきたいと思っておりますので、その節は皆さんのご協力をよろしくお願ひいたします。

■式典祝賀会部会 部会長 鈴木 清詞さん
実を言いますとまだ何も決まっていないうのが実態ですが、式典というのは実行委員長のあいさつからスタートをしまして、ロータリーソング、来賓のあいさつを順次やりまして、記念品目録贈呈をし、15分位で終わり、その後には食事となります。これはメンバーの配偶者同伴ということで約120~130人位になろうかと思っております。それから市内もしくは西名古屋分区の各ロータリーの会長、幹事をご招待することが恒例になっていますので、これが約30名位です。その他、分区から過去のガバナーといった方が5~10名位だろうと思っております。食事の内容は、15000円~20000円位の間で予算に応じて中身を決めていきたいと思っております。

式典祝賀会に関しましては、日にちと場所が決まっておりますし、大体パターンがきちんと決まっております。祝賀会は、食事中にどういった流れで、どのくらいお金を使ってアトラクションをやっていくか、派手にやるのか、地味目におとなしくやるのか、こういったこともこれから予算編成があるかと思っておりますので、その話し合いの中で決めていきたいと考えております。沢山予算があるということなので、できれば思い出に残る式典、あるいは祝賀会にしたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

■記念誌部会 部会長 三島多恵子さん
周年事業はロータリーの2大精神、親睦と奉仕ですので、記念事業部会とか式典祝賀会部会の方にやはり沢山の予算を注ぎ込んでいただいて、鈴木さんがおっしゃるように思い出に残る式典祝賀会をされるのが一番良いと私も思います。原資は限られておりますので、余りあるではなく、余り無い予算の中でいかにして記念誌を作るかということで、すばらしい頭脳集団の方をメンバーにさせていただきましたので、皆様のお知恵を拝借して、低予算の記念誌を一生懸命がんばって作りたいと思っております。皆様ご協力の程、よろしくお願ひいたします。